

特定小規模施設用自動火災報知設備点検票 (無線型連動方式)						
名称	〇〇〇〇			防火管理者	選任されていれば記入	
所在	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇			立会者		
点検種別	機器・総合	点検年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日 (点検実施期間を記入してください。)			
点検者	氏名	点検者所属会社	社名	TEL		
	消防 太郎		住所			
製造者名	〇〇〇〇株式会社 〇〇〇〇-〇〇					
型式名	感第20-2号 (無線型連動方式) ※自動試験機能付きであることを記入					
点検項目	点検結果			措置内容		
	種別・容量等の内容	判定	不良内容			
機器点検						
予備電源 (内蔵型) ・非常電源	外形表示					
	※端子電圧	V				
	※切替装置					
	※充電装置					
	※結線接続					
受信機・中継器	周囲の状況					
	外形表示					
	警戒区域の表示装置					
	電圧計	V				
	スイッチ類					
	ヒューズ類	A				
	※継電器					
	表示灯					
	通話装置					
	※結線接続					
	接地					
	附属装置					
	※火災表示等	蓄積式				
		アナログ式				
		二信号式				
その他						
※注意表示						
回路導通						
設定表示温度等						
感知器作動等の表示						
予備品等						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 33

6 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

特定小規模施設用自動火災報知設備（その2）

感 状 況	外 形		○ ←①	
	警 戒 未 警 戒 部 分		○ ←②	
	感 知 区 域		○ ←③	
	適 応 性		○ ←④	
	機 能 障 害		○ ←⑤	
知 器	※熱感知器	ス ポ ッ ト 型 差動定温(再)熱アナログ	○ ←⑥	
	※煙感知器	ス ポ ッ ト 型 イオン光電アナログ	○ ←⑦	
	※炎感知器	赤外線 紫外線		
	※多信号感知器・複合式感知器			
	遠隔試験機能を有する感知器			
発 信 機	周 围 の 状 況			
	外 形			
	表 示			
	押しボタン・送受話器			
音 響 装 置	表 示 灯			
	外 形			
	取 付 状 態			
	音 圧 等			
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	○ ←⑧	
	※蓄 積 機 能			
	※二 信 号 機 能			

①～⑧の番号は別紙「点検要領」の項目番号となっています。点検要領を確認して記入してください。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

特定小規模施設用自動火災報知設備（その3）

自動試験機能	予備電源・非常電源								⑨⑩の番号は別紙「点検要領」の項目番号となっています。 点検要領を確認して記入してください。
	受信機の火災表示								
	受信機の注意表示								
	受信機・中継器の制御機能・電路								
	感知器								
	感知器回路・ベル回路								
連動機能	連動型感知器〇〇台	○	←⑨						
無線機能	無線型感知器〇〇台	○	←⑩						
総合点検									
同時作動									
※煙感知器等の感度									
地区音響装置の音圧									
※総合作動									
備考									
	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	
	加熱試験器								
	加煙試験器								
	外部試験器								
	煙感知器用感度試験器								
炎感知器用作動試験器									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 票中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。